**第○学年音楽科学習指導案（例）**

期　日：令和○○年○月○日

時　間：第○校時

対　象：○年○組○○名

授業者：○○　○○

**１　題材名**

「歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ，曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう」

**２　題材設定の理由**

1. 児童生徒観
2. 教材観
3. 指導観

**３　題材の目標**

「荒城の月」「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに，「早春賦」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌い，我が国で長く歌われている歌曲に親しむようにする。

**４　学習指導要領の指導事項**

第２学年及び第３学年　A表現（１）歌唱

ア　歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること。

イ（ア）曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり

ウ（ア）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使

い方などの技能

［共通事項］

本題材において思考・判断のよりどころとなる要素･･･「リズム・速度・旋律・強弱」

* 思考・判断のよりどころとなる要素は絞り込む。（教材で取り扱える全ての要素を記入しない。）
* 「題材名」と「興味・関心をもたてたい事柄」の整合性をとる

**５　教材名**

**６　題材の評価規準**

※令和２年度について、中学校は移行期間のため、現行の４つの観点で設定する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ※１　A表現領域は，原則，「**知識」「技能」を分けて記載**。※２　B鑑賞領域は，「知識」のみ記載。 | ※３　**思考・判断のよりどころとなる要素を選択**し，評価規準を作成。 | ※４　**興味・関心をもたせたい事柄**を記載し，評価規準を作成。 |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| * 「荒城の月」，「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。
* 創意工夫を生かした表現で「早春賦」を歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。
 | * 「荒城の月」，「早春賦」のリズム,速度，旋律，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，「早春賦」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。
 | * 「荒城の月」，「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
 |

**７　指導と評価の計画（○時間）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | ◆ねらい　○学習内容　・学習活動 | 知・技 | 思 | 態 |
| 1 | ◆「荒城の月」，「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいなどに関心をもつ。○「荒城の月」，「早春賦」の歌詞の内容や曲想に関心をもつ。・「荒城の月」，「早春賦」のＣＤを聴いて印象などを自由に話し合う。 |  |  |  |
| 2 | ◆　･･･････････○　･･･････････・　･･･････････ | 知※（ワークシート） | 思※（ワークシート） |  |
| 3 | ◆　･･･････････○　･･･････････・　･･･････････ | 技※（歌唱） |  | 態※（観察） |

※全員の学習状況を記録に残す場面として設定する。

**８　本時案**

（１）本時のねらい

（２）展開（○分）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 時間 | 指導上の留意点 | 評価（方法） |
|  |  |  |  |